

# ひがしあわりの窓

平成24年7月発行 第10号

## 基本理念

患者さんの立場に立ち、基本的人権を守り、より安全な医療を提供します。



小児精神科医長

東 誠

4月1日に東尾張病院に小児精神科医長として赴任いたしました、児童精神科医の東(ひがし)誠と申します。赴任して4か月、児童・思春期ユニットが開設されてから、はや1か月が経ちましたが、まだまだ慣れないことも多く、悪戦苦闘の毎日を過ごしています。

京都出身で、大学は四国の愛媛、新米医師としての出発は大阪と西日本を離れなかった私が、関ヶ原を越えて未だに慣れない八丁味噌の国に引っ越して来たのは13年前です。大学を卒業した後、児童精神科とは全く無縁の診療科に入局しました。しかし、小児専門病院に就職したことをきっかけに「子どもの心」に対して改めて関心を持ち、児童精神科の豊かな伝統を持つ名古屋大学医学部精神科に一大決心のもと、再入局させていただきました。名古屋大学医学部附属病院精神科で研修を終えたのち、あいち小児保健医療総合センター心療科、愛知県心身障害者コロニー中央病院児童精神科で児童精神科としての経

験を積んで参りました。このたび当院に児童・思春期ユニットが開設されることとなり、こちらの病院に就職させていただいた次第です。

近年、発達障害や子ども虐待、そして、現在マスコミをにぎわせているいじめ問題など「子どもの心」に対する問題は益々重責しています。それとともに子どもの精神科臨床は日々進歩を遂げ、成人精神科臨床と同様に疾患単位の医療が普通になっています。しかし、児童精神科による治療は、「子どもの心」の問題の一断面をとらえているに過ぎません。心に問題を抱える子どもの育ちの経過はどうであったのか、両親はどんな特性を持っていて家族はどんな変遷を経てきたのか、幼稚園や学校ではどんな体験をしてどんなライフイベントを経験してきたのかなどの多くの情報をとらえることが大切です。そして、児童精神科医療は、家族・学校・地域・保健所・児童相談所など子どもと家族に関わる全ての職種、機関、人々と協力し、そのネットワークの一員となることが不可欠であると考えます。当院の児童・思春期ユニットもそのネットワークと有機的に結合・機能し、「子どもの心」の問題を解決していくための助けになればと願っています。

## 新病棟完成について

平成24年7月、当院の開放病棟の新築工事に伴い、病棟の一部に新しく児童・思春期ユニットが開設されました。個室4室、4人部屋2室の計12床とこぢんまりとしたユニットではありますが、ユニット専用の浴室・トイレ・デイルーム・面会室に加え学習室も備えており、専従・常勤の精神保健福祉士及び臨床心理士を配置するなど、児童精神科入院施設としての施設基準を備えています。愛知県は古くから児童精神科医療の先進地域であり、既に子ども専門の入院施設を備えている、あいち小児保健医療総合センター・心療科、愛知県心身障害者コロニー中央病院・児童精神科と役割分担・協力しながら「子どもの心」の治療を進めていくこととしています。

## 第6病棟が新しくなりました

第6病棟では「児童・思春期専門治療病床（ユニット）」が新たに12床設置されました。

これまで当病棟では、長期入院患者の退院支援を中心として、多くの職種との連携を密にし、チーム医療を実践してきました。これまで10年以上の入院生活後に退院され、地域で生活を送られている方が多数おられます。

新病棟では、これまでの長期入院患者の退院支援を継続し、また、新設されたユニットでは、幅広い範囲の思春期・青年期の精神障害者の治療とともに患者さんが自分の課題に取り組み、成長していく環境を提供することを目標としています。

児童・思春期専門治療病床（ユニット）では、「こどもユニット憲法」を策定し、入院患者さんと共に寄り添う姿勢を大切にしています。

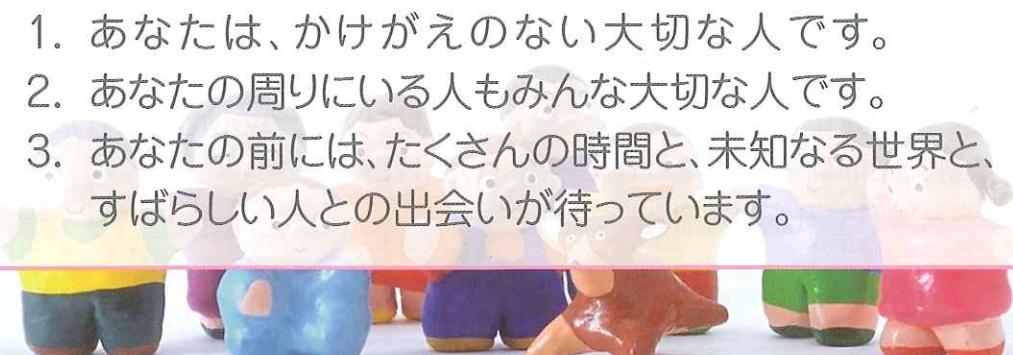


### こどもユニット憲法

ぜったいに忘れてはいけないこと



1. あなたは、かけがえのない大切な人です。
2. あなたの周りにいる人もみんな大切な人です。
3. あなたの前には、たくさんの時間と、未知なる世界と、すばらしい人の出会いが待っています。



## 第2病棟の紹介

### 慢性期閉鎖病棟



第2病棟は、第1病棟の2階に位置しています。病棟内に入ると、そこにはとても明るく広いホールがあり、そこで急性期を脱した患者さんが社会復帰に向けて療養されています。男女混合50床の病棟です。

入院が長期にわたる患者さんも多くいらっしゃいます。病棟では、季節ごとの飾り付けや、中庭を使用したレクリエーションを行うなど、患者さんの気分転換や健康的な側面への援助を大切にし、療養環境が慢性的なものにならないよう工夫しています。また、SST(社会生活に必要な技能の訓練)やコミュニティミーティング(患者さんと医療者みんなで病棟の治療環境について話し合う場)を通して、日常生活や社会生活について、患者さんと一緒に考えることに重点を置いています。

看護スタッフは、男性11名、女性10名、今年度採用の新人から経験年数20年以上のベテランまで幅広い人材がそろっており、様々な視点から患者さんの生活を考え、患者さんに寄り添った看護が提供できるよう頑張っています。

第2病棟の紹介です



## 患者相談窓口について

患者さんや御家族などからの困り事・悩み事などに  
対応するための相談窓口です。



今年の4月から地域医療連携室に「患者相談窓口」が設置されました。「患者相談窓口」とは、患者さんや御家族などからの困り事・悩み事などに対応するための相談窓口です。診療や職員に対する疑問・苦情などの御相談がありましたら、お申し出ください。また、直接、窓口でお話しいただくことが難しい場合には、手紙・電話・FAXでもお受けいたします。

相談者の方々及び病院・職員等との信頼関係の構築に努め、問題の解決に向けて支援させていただきます。担当者一同、皆様からの声に精一杯対応していきたいと考えておりますので、何か気になることがございましたら、地域医療連携室の患者相談窓口まで足をお運びください。

**受付時間 平日9:00~12:00、13:15~16:00**

※ただし、土・日・祝日及び年末年始は、お休みさせていただきます。

窓口は、医療社会事業専門員又は医事係長が担当させていただいております。

# 外来診察の御案内

平成24年5月1日現在

	月	火	水	木	金
第1診察室	芦澤	木村	吉岡	酒井	菅原
第2診察室 (初診)	菅原(第1) 酒井(第2・5) 青木(淳)(第3) 木村(第4)	金田 (第1・3・5) 近藤 (第2・4)	青木(啓)／東 (隔週)	横山	芦澤
第3診察室	舟橋	青木(淳)	舟橋	芦澤	横山
第4診察室	八木	青木(啓)	青木(淳)	八木	木村
第5診察室	東	菅原	横山	吉岡	青木(啓)
第6診察室			近藤	金田	
午後診			鈴木	東	東

(注1)受付時間は、8:30～11:30です。(注2)家族相談、訪問看護、セカンドオピニオンも行っております。詳細につきましては、お問い合わせください。

(注3)再診の場合は、予約診療も行っております。

## 病院へのアクセス



### 名古屋方面から電車・バスで

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、市バス藤丘12系統 東谷山フルーツパーク行き乗車、東尾張病院南下車徒歩約5分
- JR中央線・地下鉄名城線大曽根駅下車
  - ゆとりーとライン志段味スポーツランド経由中志段味行き乗車、東尾張病院下車
  - 名鉄瀬戸線で印場駅下車徒歩約20分、又は旭前駅下車後タクシーで約8分

### 名古屋方面から乗用車で

- 瀬戸街道(県道61号線)印場西交差点を北上、4つ目の信号「労災病院西」を左折してすぐ左手

### 春日井方面から乗用車で

- 竜泉寺街道(県道15号線)吉根東交差点(イオン守山店)を南下し、二つ目の信号を過ぎて約500m行った右側

## 病院バスの運行経路・時刻表

午前	午後
病院発 8:40	病院発 15:40
神領駅 8:50	旭前駅 15:45
守山イオン 8:55	藤が丘 15:55
病院着 9:00	病院着 16:10
病院発 9:05	病院発 16:15
藤が丘 9:20	守山イオン 16:20
旭前駅 9:30	神領駅 16:30
病院着 9:35	病院着 16:45

※土曜、日曜、祝日は運休します。

### ■病院マイクロバス乗り場案内

病院……当院玄関東側の車庫前  
旭前駅……名鉄瀬戸線旭前駅ロータリー小川歯科前  
藤が丘……地下鉄藤が丘駅西側のパチンコ店角  
神領駅……中央線神領駅ロータリーのコンビニ前  
守山イオン……イオン守山店南東側の高架下

※交通事情により多少遅れことがありますので御了承下さい。

